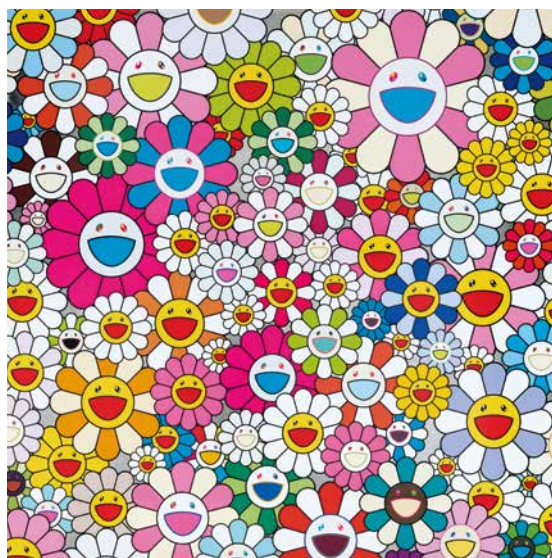
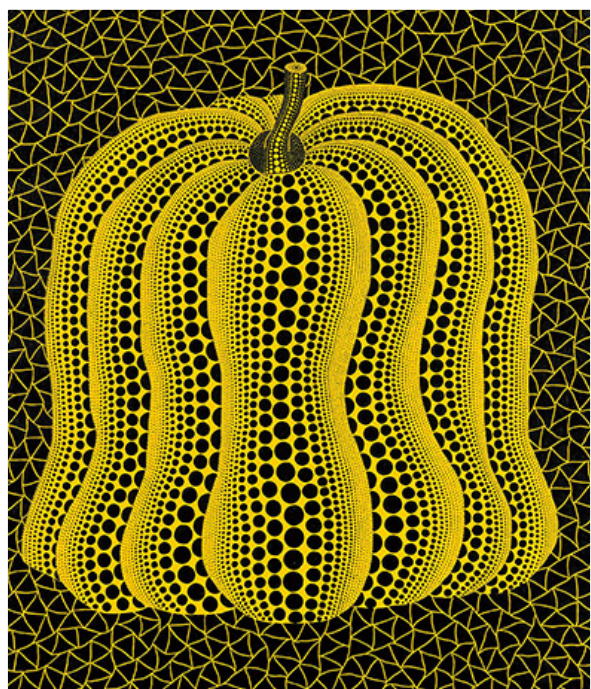
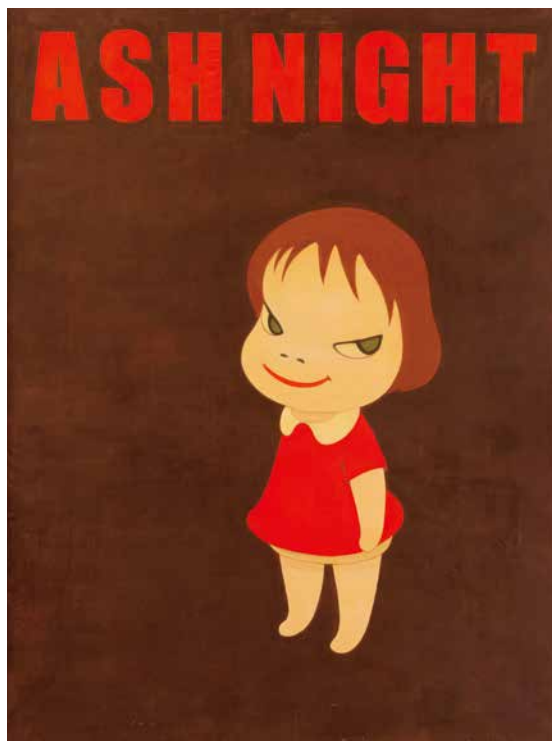


いま、私は現代アートと出会う

— 草間彌生、奈良美智、村上隆、アンディ・ウォーホル、バンクシー —



1. Andy Warhol 《DIAMOND DUST SHOES》1980年 Acrylic paint and silkscreen inks diamond dust on paper, 101×152cm © 2026 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo G4414
2. Andreas Gursky 《Dubai World III》2008年 C-print, 227×336cm © Andreas Gursky / Courtesy Sprüth Magers / JASPAR, 2026 G4414
3. 草間彌生 《A. PUMPKIN (Y)》2004年 Acrylic on canvas, 53×45.5cm © YAYOI KUSAMA
4. 奈良美智 《Ash Night》2000年 Acrylic on canvas, 204.5×155.5cm © YOSHITOMO NARA
5. 村上隆 《お花の笑顔。》2011年 Acrylic and platinum leaf on canvas mounted on aluminum frame, 100.0×100.0cm © 2011 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

2026.11.14^{SAT} — 2027.1.24^{SUN}

開館時間 9:30—17:00 (発券は16:30まで)

休館日 月曜日(11月23日、1月11日は開館)、11月24日(火)、1月12日(火)、年末年始(12月26日(土)～1月6日(水))

観覧料 一般1,500円(1,300円)、学生1,300円(1,100円)、小・中・高校生750円(600円) ※()内は、前売り及び20名以上の団体料金

* 前売券取扱所 販売期間: 9月14日(月)～11月13日(金)

アソビュー!、ローソンチケット(Lコード: 22382)、セブンチケット(セブンコード: 116-991)、CNプレイガイド TEL 0570-08-9999、チケットぴあ(Pコード: 687-544)、藤崎

〈主催〉宮城県美術館、河北新報社、仙台放送

〈後援〉仙台市教育委員会、NHK仙台放送局、tbc東北放送、ミヤギテレビ、khh東日本放送、エフエム仙台

〈企画制作〉ウイステリアート 〈制作協力〉よりみち

The Miyagi Museum of Art

宮城県美術館

〒980-0861
仙台市青葉区川内元支倉34-1
TEL 022-221-2111

最新情報は
こちらから



ウェブサイト



X

〔出品作家〕 Alain Biltreyst/
Andreas Gursky/Andy Warhol/
Anish Kapoor/Anselm Kiefer/
Banksy/Cy Twombly/
Damien Hirst/David Hockney/
Frank Stella/Jasper Johns/
Jeff Koons/Joan Mitchell/
Julian Opie/Kathleen Jacobs/
Nam June Paik/Olafur Eliasson/
Roy Lichtenstein/Thomas Ruff/
Xavier Veilhan/荒川修作/
イケムラレイコ/石田徹也/伊藤存/
植田正治/大竹伸朗/香月美菜/
加藤泉/河原温/草間彌生/
五木田智央/小林孝亘/
塩田千春/白髪一雄/菅木志雄/
高松次郎/田中敦子/中西夏之/
奈良美智/名和晃平/村上隆/
元永定正/吉原治良/李禹煥



いま、私は 現代アートと出会う

—草間彌生、奈良美智、村上隆、アンディ・ウォーホル、バンクシー—

美術館で作品を鑑賞する体験は、ときに私たちの感情を揺さぶり、思いがけない感覚や記憶を呼び起こすことがあります。本展ではそうした「作品との出会い」をテーマに、国内外の作家による約70点の作品をご紹介します。これらは、ある一人のコレクターが「現代アートの面白さを理解したい」と収集を始めたコレクションの一部であり、草間彌生、奈良美智、村上隆、アンディ・ウォーホル、バンクシーら現代アートを代表する作家が多く含まれていますが、その表現は実に多彩です。そこで本展はその魅力を読み解く手がかりとして、色やかたち、光、人の姿、線、風景と記憶といったシンプルなキーワードを軸にして展示を構成しました。

現代アートを「いまの時代につくられたもの」と捉えると、そこには「いま」を生きる私たちと呼応する視点や問いが潜んでいるかもしれません。ときに難解で、ときに私たちの認識をも揺さぶる現代アート。本展でこれらの作品と出会うことで、アートの楽しみ方を発見するきっかけとなれば幸いです。

1. 名和晃平《PixCell-Deer#75》2025年 Mixed media, 241.5×187.0×170.0 cm Photo: Nobutada OMOTE Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE
2. 大竹伸朗《網膜/バルサー 1》1990-2020年 Urethane resin paint on chromogenic analog print mounted on wooden panel, 230×170×10cm © Shinro Ohtake. Courtesy Take Ninagawa, Tokyo.
3. 香月美葉《5:21:10》2021年 Wood panel, linen, acrylic, pigment, 162.0×130.3×4.5 cm © Mina Katsuki photo by Kenryou Gu
4. Anselm Kiefer《For Paul Celan - Poppy + Memory》2014年 Glass, metal, resin, shellac, fabric, plaster, dried leaves and lead, 210×120×90cm Copyright : Anselm Kiefer Photo : Georges Poncet Courtesy of Fergus McCaffrey



■ 関連イベント

オープニング・ギャラリートーク

【講師】南條史生氏（本展アドバイザー）
安岡真理氏（浜松市美術館 学芸員／本展企画者）
【日時】11月14日（土）10:00～
【場所】展示室1・2
※観覧券をお持ちの上、2階展示室入口にお集まりください。

講演会『「見る」から「出会う」へ —現代アートの扉をひらく—』

【講師】安岡真理氏
【日時】11月28日（土）14:00～
（90分程度、13:30開場）
【会場】佐藤忠良記念館アート・ホール
【定員】100名 当日先着順（聴講無料）

学芸員による展示解説

【日時】11月21日（土）、12月5日（土）、
12月19日（土）、1月9日（土）
いずれも14:00～
※観覧券をお持ちの上、2階展示室入口にお集まりください。

*キッズスタジオ・プログラム

〈チャレンジ・キッズ・プログラム〉11月15日（日）、12月5日（土）、1月9日（土）
〈ミュージアム探検〉11月21日（土）、12月19日（土）、1月23日（土）
*創作室プログラム（トライデー）11月29日（日）

※いずれも詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。（要事前申込）

同時開催 所蔵品展

絵本原画 林明子



林明子《こんとあき》表紙原画 1989年
宮城県美術館蔵

※本展観覧券でご覧いただけます。

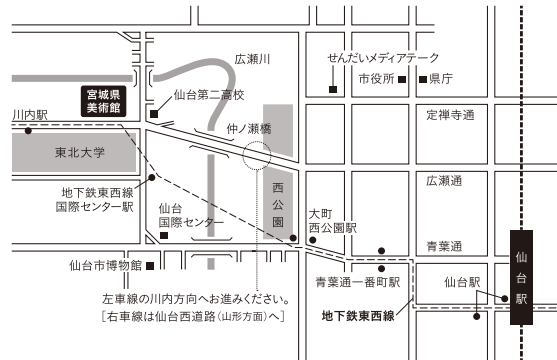
○交通のご案内

- 仙台市地下鉄利用の場合：東西線国際センター駅西1出口から右（北）へ徒歩7分、もしくは川内駅北1出口から右（東）へ徒歩7分
- 仙台市営バス利用の場合：仙台駅西口バスプール9番乗場より730系統もしくは739系統に乗り、「二高・宮城県美術館前」下車、徒歩3分
- るーぶる仙台バス利用の場合：「国際センター駅・宮城県美術館前」下車、徒歩3分
- タクシー利用の場合：仙台駅から約10分
- 高速道路利用の場合：東北自動車道・仙台宮城I.C.より仙台市街方面（仙台西道路）に入り、仙台城跡方面を経由して美術館へ。仙台宮城I.C.より約15分

The Miyagi Museum of Art

宮城県美術館

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 TEL 022-221-2111
〈ウェブサイト〉<https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>
〈X〉https://x.com/miyagi_bijutu



| 次回特別展 | 棟方志功展 2027年2月6日（土）～3月28日（日）